

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	超イオン導電体の創出
研究代表者	菅野 了次 (東京工業大学・物質理工学院・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成32年度
コメント	<p>本研究は、応募者のリチウムイオン及びヒドリドイオン導電体に関する国際的にも高い評価を受けている研究業績を基盤として、更なる高性能イオン導電体の探索を継続発展させるとともに、相図を利用した従来の物質探索手法に加えて、機械学習を取り入れる研究計画である。機械学習に関しては必ずしも有効性が明確でないが、リチウムイオンやヒドリドイオンをキャリアとした物質開発は大きな意義がある。</p> <p>応募者の高い研究遂行能力から十分な成果が得られると期待でき、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>